



広報

ひがしゆう

豊かな自然みんなで

拓く町

伸びる町

祝 ご成人おめでとうございます

1989—9

No.414

平成元年9月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

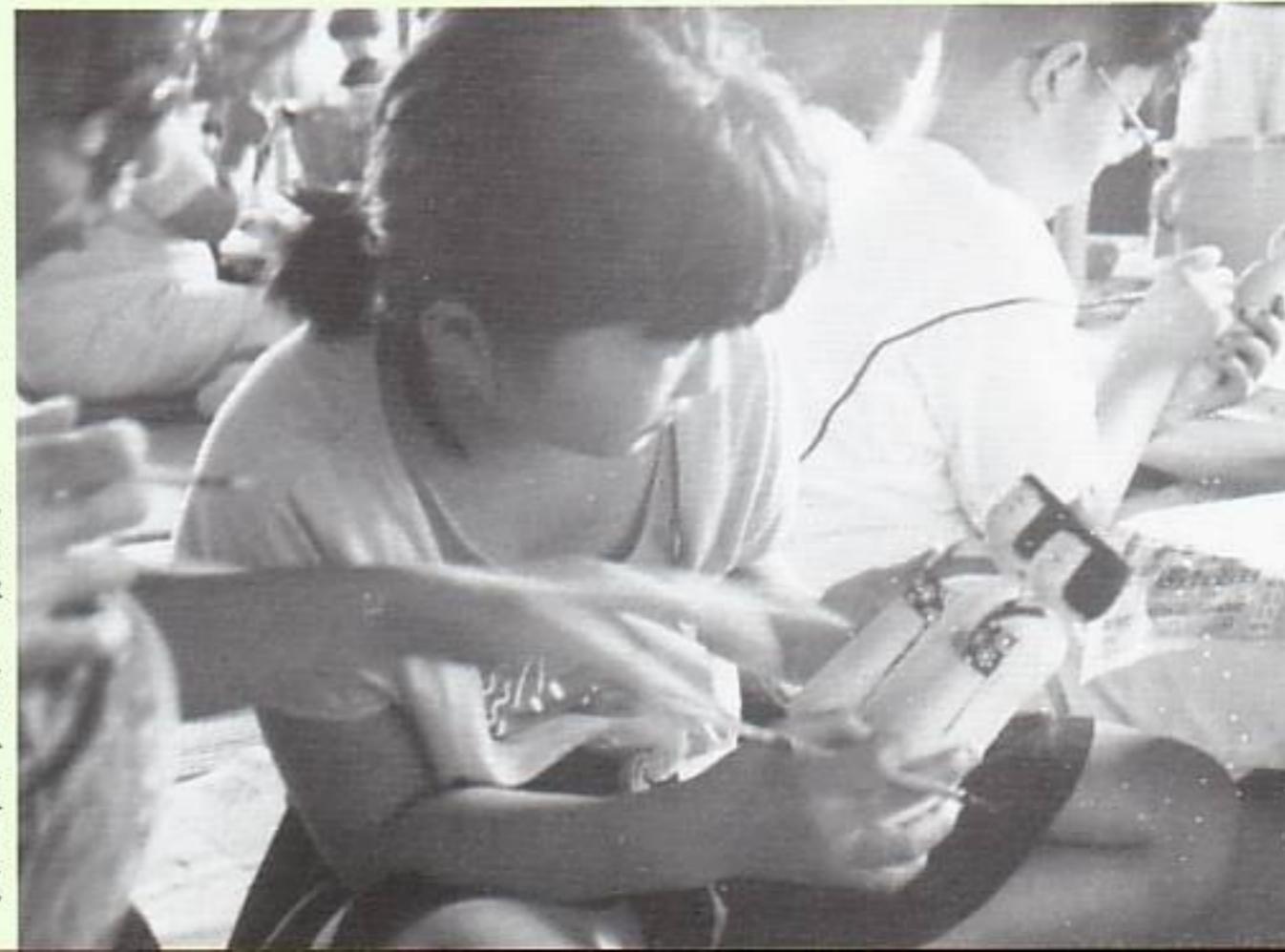
- 敬老特集「長くくなつた
中・高年期をどう生きる」 : 2
- 高瀬小が全国大会へ出場 : 6
- カメラ・アイ : 8
- 「国立競技場で走つたぞ!」
「町成人式」 : 10
- 「72人が大人の仲間入り」
「まちかどトピックス」 : 12
- 「みんなのひろば」 : 14



▶蔵地区主催の「日本一大いちょうまつり」が八月十六日に開かれました。
(記事十三面・写真は由利十二頭・下
村氏の入部再現で、武者姿の一行)



▶第五回ふるさと交流が八月十五日に開かれ、野菜の収穫や魚のつかみどり、こけし絵付けなどを楽しみました。
(記事十二面・写真はこけし絵付け)



▲夏恒例の成人式が八月十五日有鄰館で行われ五十七人の新成人が出席しました。(記事十面・写真は記念写真を撮る新成人)

敬老特集

長くなつた 中・高年期をどう生きる

人生五十年時代から人生八十年時代へと、世の中は大きく変わろうとしています。
人生の後半生が、かつて考えられなかつたほどに長くなり、もはや「余生」という考え方は通用しなくなりました。

そこで、本町や日本の高齢化の現状をみながら、長寿社会の新しい生き方や、今注目されている「エイジレス・ライフ」とは何か——など、人生八十年時代にふさわしい中・高年の新しい生き方を特集しました。



高齢化
急テンポ

65歳以上が18.4%に

東由利町には現在どれくらいのお年寄りがいるかご存じですか。

六十五歳以上の老人人口は、七月末現在で千八十八人で、町の総人口の一八・四%を占めています。つまり、町民の五・四人に一人が六十五歳以上ということになるわけです。ちなみに県全体では一四・二%で七人に一人、国全体では一〇・九%で九・二人に一人が六十五歳以上となっています。(県・国は63年統計数値)

図・1は年齢別人口構成を表わしたもので、昭和三十五年(点線)と平成元年(実線)を比べてみると若い人が極端に少なくなり、お年寄りの人口が増えているのがわかります。また図・2は老年人口比率の推移を表わしたものですが、昭和三十五年の四・四%に比べると、二十年近くの間に四倍以上にもなっています。このように、町の六十五歳以上の総人口に占める割合は



●敬老特集●

日本の高齢化

日本の場合、人口の高齢化のスピードが外国に比べて非常に速いのが大きな特徴です。

六十五歳以上の人全人口に占める割合を「老年人口比率」といっていますが、これが七〇%から一四〇%になる期間は：

- ・フランス…………百三十年
- ・スウェーデン…………八十五年
- ・アメリカ…………七十年
- ・イギリス…………四十五年
- ・西ドイツ…………二十六年
- ・日本…………二十五年
- 日本の「二十五年」を西暦に当てはめてみると、一九七〇年（昭和四十五年）から一九九五年（平成七年）に相当します。

では、二〇〇〇年以降はどういう見通しになつてあるか、推計を見てみましょう。

人生50年型から80年型へ意識の転換を図ろう

日本人の平均寿命は、昭和六十三年で男子七十五・五歳、女子八十一・三歳と、世界最高の水準です。六十歳を定年とするところ、男子で十数年、女子で約二十年の平均余命があります。人生五十年時代には考えられなかつたことです。

長い老後を充実したものにするには、もはや「余生」といった人生五十年時代の考え方・意識は通用しません。

長い老後を充実したものにするには、「余生」という言葉によれば今までに身についた知識と経験をいかに社会に生かすかを考えたいものです。

平均寿命の伸びに応じて、人生五十年型の意識を八十年型に変えていくこと、これが今、中高年にとつての大きな課題といえます。

年（平成七年）に相当します。

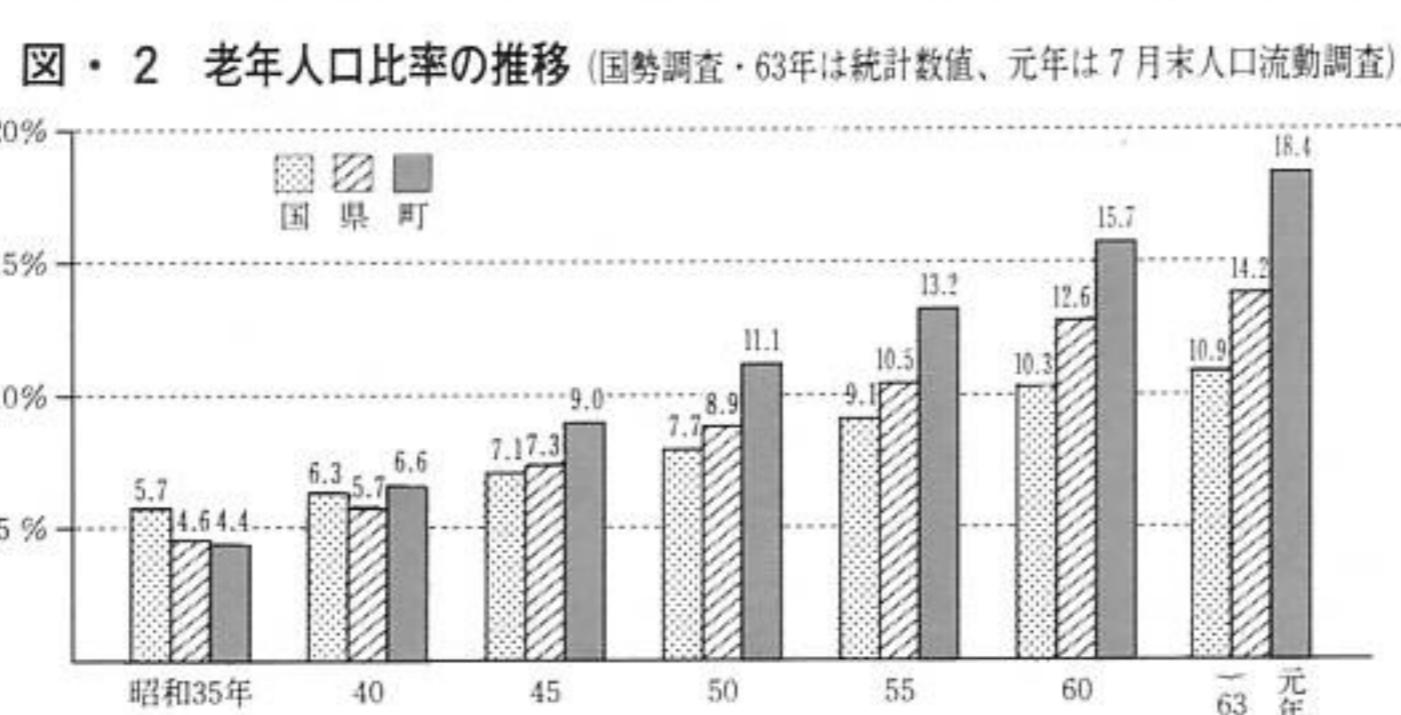
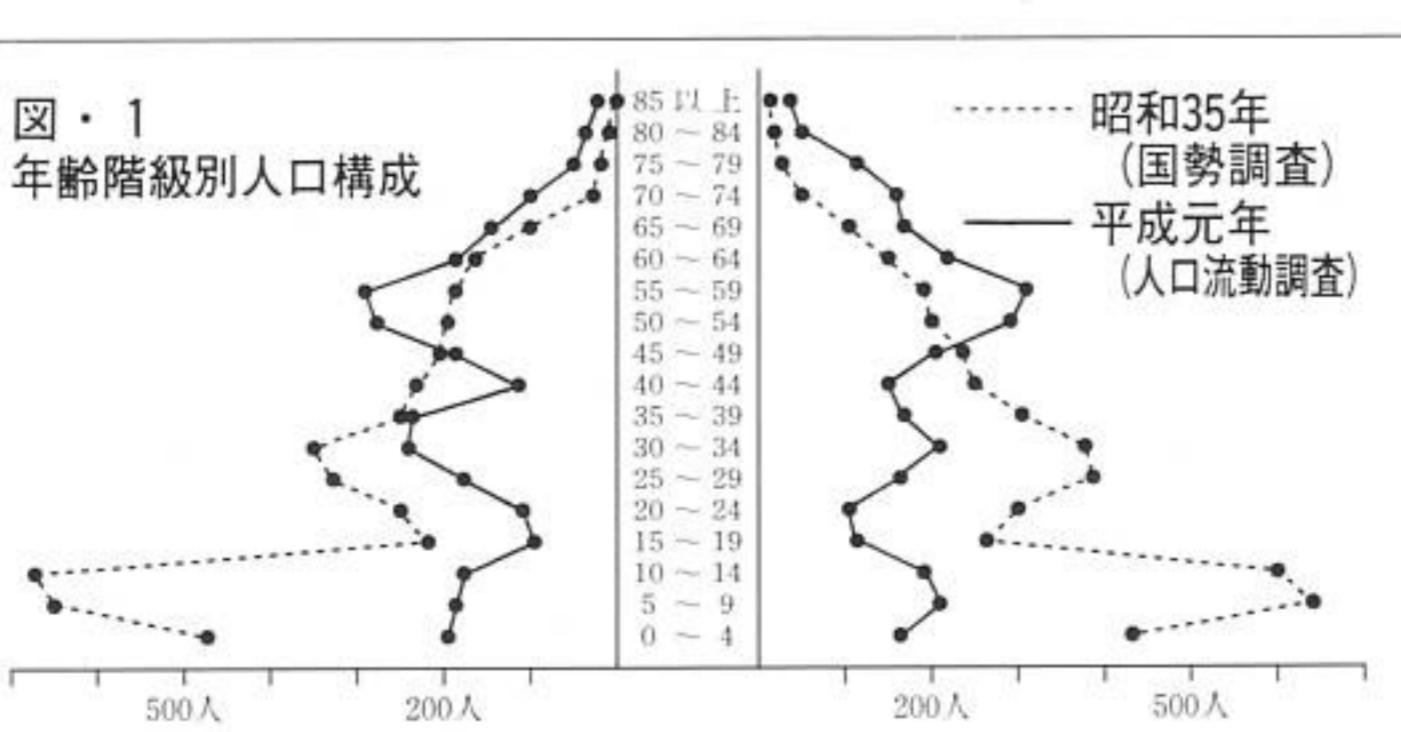
（日本の老人人口比率が七〇%になつたのは昭和四十五年で、昭和六十年には一〇〇%を突破、平成七年には十四〇%に達することが見込まれています）。

日本の高齢化のスピードがいかに速いか、世界に例を見ないペースで進んでいることが分かります。

日本は、高齢化のスピードがいかに速いか、世界に例を見ないペースで進んでいることが分かります。

中年時代に「仕事こそわが人生」とばかり、外のこと目に付き、一生懸命働いてきて、定年後、長い老後を目の前にして途方に暮れる……こんなはずではなかつた、と。これは一種のカルチャーやショック（文化摩擦）と言えなくもありません。

「粗大ごみ」とか、「産業廃



など実施し、高齢化社会に對応する努力をしています。高齢化社会は今後も確実に進展します。

社会福祉対策の充実と合わせ、長くなつた老後をどう生きるか；これから老年期を迎える人たちの大きな課題です。

人生八十年時代を迎えて、長くなつた中・高年期をどう生きるかが、いま改めて問われています。そうした中で、長寿社会の新しい生き方として大きな関心を呼んでいるの

つた意識にとらわれないで、自らの責任と能力で自由にいきいきと生きようというものです。こうした生き方が、ひいては社会全体の活力を生み出していくという考え方です。

余生どころではありません。平均寿命まで二十年前後あるわけですから。人の一生の収穫期ともいってべき第三の人生が始まろうとする時期、それが現代の還暦なのです。

に生き、どう全うするか……
分の時間が増える中で、受け
の生き方に終わることなく、自
らの力で新たな自己実現の道を
探る生き方こそ、ふさわしい
ではないかと思います。

仕事を完成させるのも一つで
しよう。あるいは、やつてみ
たいと思いつつできなかつた
ことに取り組んでみるのもい
いでしよう。テーマはどうで
あれ、ただ何となしに惰性で

エイジレス・ライフのすすめ

日本社会事業大学教授・社会福祉部長
三浦文士

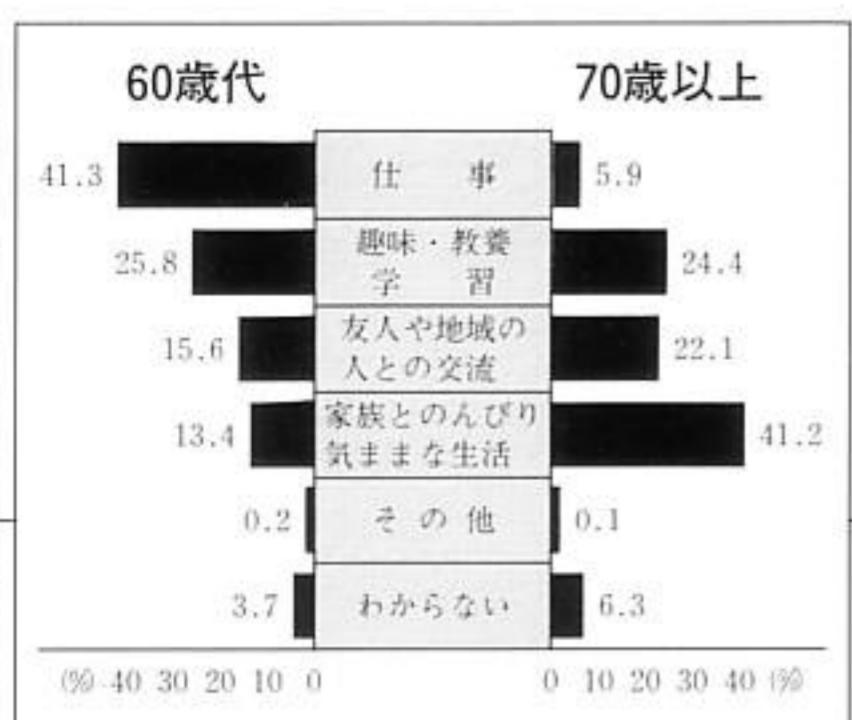


側の一員として一定の役割を担いながら、自立して自分の人生

は年を感じさせないという意味です。エイジレス・ライフをひと言でいうと、年齢にこだわらないで、自分の能力と

経験を社会に生かし、自立て積極的に生きる生き方ですつまり、「もう年だから」とか「年がいもなく……」とい

老後はどうのよ うな



健康は一番の財産

日本人の平均寿命は、前述したように男性が七十五・五歳、女性が八十一・三歳と、世界最高の水準です。六十歳で定年退職すると、その後に約二十年近くの人生があるのです。

の自由がきかず、元氣で活動できないくらいなら、長生きをしたいと思わない」という人が全体の八十一・四パセを占めていました。

お年寄りの体の特徴を知ろう

かもこの数字は、私たちの寿命が今後も延びることを考えるとさらに増えると予想されます。

豊かな老後は健康と生きがいづくりから

二〇四

③慢性の病気が多く、治療が長くかかりがちになる

④再発や他の病気の併発を起こしやすい

この四つのポイントを頭におくと、吉川の「日本」の建前

いと、若いうちから日々の健康づくりを心がけていくことが大

切です。そのためには、栄養のバランスを考えた食事をとる、

体操や散歩などの適度な運動をする、定期的に健康診断を受け

する、定期的に健康診断を受ける、ことなどを実行していきた

（資料）総理府広報室「長寿社会に関する世論調査」（昭和61年9月調査）対象 全国20歳以上60歳未満の者5千人

人生の完成期をいかにすごすか

最近は若者文化が華やかで、
高齢者の社会的な役割や地位は

ずつでも行動を起こしておきた
いものです。

地域でボランティア活動を

と思える趣味を、若いうちから探しておきましょう。

高齢者自身も、若い世代との交流がうすれ、主に同世代の人間関係を中心とした生活をしがちです。

長く続けられる趣味をもつ

で最も充実した「人生の完成期」です。孤独に陥つたり、無為な日々を送るのはもったいないとれます。そこで、若いうちから「老後に何を生きがいにするか」ということを考えて、少し

趣味のある人生は、一次に何をやろう」「次はこうしてみよう」という創造性や楽しきがもてるため、心に張りができ、若さを保つことにもつながりますまた趣味を通じて、若い人から高齢者までさまざまな人と知り合うことができます。「これだ」

お年寄りの交通事故死が急増

秋田県警察本部によると、今年の交通事故死者は、七月末現在で五十四人となり、前年同期より五人増えました。交通事故件数も約二千件で、前年同期に比べ二十四件多くなっています。

自転車やオートバイを利用する機会が多くなったためと考えられます。

いつまでも若いつもりが…

最近のこのような傾向に歯止めをかけるため、お年寄りの皆

さんはどのように気につけばいいのでしょうか。

気持ちのうえでは若いつもりでも、やはり年齢とともに体力

最近の事故の特徴は、お年寄りの交通事故死が急増していることです。本荘・由利管

昭和50年および過去5年間に
死者数が5,000人を超えた日(警察庁調べ)

年月日	死者数	年累計
50年6月28日	5,014人	10,792人
59年8月4日	5,002人	9,262人
60年8月1日	5,021人	9,261人
61年7月30日	5,003人	9,317人
62年7月31日	5,021人	9,347人
63年7月11日	5,013人	10,344人
元年6月28日	5,024人	?

自転車での事故 だつて多い

いつまでも若いつもりが：

次に、自分自身が交通ルールを守っているかどうかを考えてみることです。たとえば自転車は左側通行なのに右側を走ってはいけない、交差点で一時停止しないで通つていなか：などです。

交通ルールを
再確認しよう

九月十五日は「敬老の日」この日から「老人福祉週間」が始まります。人生の先輩である高齢者の話を聞くことは、あなたにとつても社会にとつても大きなプラスになるはずです。

戦後、日本の高度な科学技術を生み出し、豊かな生活環境を築いてきたのは、現在「お年寄り」といわれている人たちです。毎日の生活の中で培ってきた豊かな知識と経験には、なにものにもかえられないものがありま

すものといえましょう。

高瀬小が全国大会へ出場!!



全国大会に出場した選手(左から畠山、遠藤良、小野、石渡、遠藤力)

第5回全国少年少女リレー競走大会

全国10位の快記録

第5回全国少年少女リレー競走大会(財団法人日本陸上競技連盟主催、文部省など後援)に、高瀬小学校が秋田県代表として出場しました。

高瀬小は去る六月一日、本荘市の水林陸上競技場で開かれた都市小学校陸上競技大会の男子四百㍍リレーで大会新記録を出し優勝したほか、八種目で上位に入賞しました。そして同三十日には秋田市の八橋陸上競技場で開かれた全国大会の県予選大

会も自己ベストを記録し千組がいたものです。リレーのタイムは郡大会で出した大会新記録を二秒八縮めた五二秒五でした。

全国大会は八月二十六日東京の国立霞ヶ丘陸上競技場で開かれ、全国各地から大勢の選手が参加。秋田県からは高瀬小男子四百㍍リレーなど六種目に十四人の選手が出場し、家族など駆け付けた応援団の声援を受けながら力いっぱい熱い戦いを開催

会に、本荘・由利地区代表として男子四百㍍リレーと子四百㍍リレーと千組に出場。いず

かしこの記録は全国第十位の四位、リレーが優勝の栄誉に輝いたものです。リレーのタイムは郡大会で出した大会新記録を二秒八縮めた五二秒五でした。

全国大会は八月二十六日東京の国立霞ヶ丘陸上競技場で開かれ、全国各地から大勢の選手が参加。秋田県からは高瀬小男子四百㍍リレーなど六種目に十四人の選手が出場し、家族など駆け付けた応援団の声援を受けながら力いっぱい熱い戦いを開催

「国立競技場の夏」



高瀬小教諭
尾留川昭さん

第一走者 石渡 仁久(六年)
家を出る時、競技場におどろくなよと言われました。でもいざ競技場に立つとすごくきちんとようしてしまいました。でも競技の方では五十二秒三四で十位に入れてうれしかったです。

第二走者 小野 鉄也(同)

予選のとき、足がいたくて、全力で走れませんでした。準決勝のときは、おもいつきり走つて、タイムを縮めることができたのでよかったです。いい思い出を作ることができました。

第三走者 遠藤 良馬(同)

国立競技場に入ったとたん、大きさにびっくりしました。大

一生懸命がんばりました

会の日には、少しもきんちようしませんでした。準決勝でおちましたが、県大会よりいいタイムを出せたのでよかったです。

第四走者 畠山 利幸(同)

グラウンドが大きくて予選で走るとき、きんちょうしたけれど、お父さん、お母さんに応えんしてもらつたので、準決勝は全力を出すことができました。

どうもありがとうございました。

予選は五十二秒六六、三着で見事に通過しました。準決勝では自分たちの記録を上回る五十二秒三四というすばらしい走りを見せてくれました。

が、残念ながら四着で、決勝進出はなりませんでした。しかし、この記録は全国で十位という輝かしい成績でした。

子供たちも私も、すばらしい夏休みを過ごすことができました。これもひとえに町民の皆様の物心両面にわたるご援助のおかげです。職員一同、心より感謝いたしております。

ぼくは、百メートルの友好レースに出場し三位になれたので、とてもうれしかったです。リレーは、決勝にいけなかつたので、とても残念でした。

郡大会で二種目を制す 県大会(9/7)の成績にも期待

本荘由利消防訓練大会(八月三日・本荘公園前広場)で、本町消防団が「ポンプ車操法」と

「小型ポンプ操法」の二部門で優勝、総合で準優勝を果たしました。

優勝したのは五分団一部一班(ポンプ車)と二分団二部二班(小型ポンプ)で、規律訓練に出場した二分団二部は六位にとどまりました。

この大会は九月七日に岩城町

の県消防学校で開かれる県大会の予選も兼ねており、優勝した各分団の部や班はその出場権を獲得しました。このため団員ら

は県大会に向け更に技術に磨きをかけており、大会での好成績に期待がかけられています。



県大会に向け技術に磨きをかける団員

川のクリーンアップに 1,500人が参加

目立った農業用や工事用などの廃材

河川愛護月間期間中の七月三十日、本町では初めて「川のクリーンアップ」が行われました。これは川岸に目立つゴミの一斉排除と、

町民の美化意識の高揚などを目的に、町が自治会、高瀬川魚族保護組合、連合青年会、建設業協会の協力を得て実施したもの。

ゴミの量が特に目立つたのは橋の付近で、洗濯機やテレビ、自転車など粗大ゴミをいたるところで発見、また川岸の木々には家庭用廃材のほか農業用ビニール



低水位の好条件下で行われた「川のクリーンアップ」(写真・畠村地区)

は折からの干ばつが幸いし、河水位が極端に低いという好条件の中で行われましたが、その分ゴミが大量に目立つという結果にもなりました。

河川愛護月間期間中の七月三十日、本町では今後、不法投棄個所に看板を設置するほか「川のクリーンアップ」を毎年実施し、定着させたいとしています。

高橋氏から贈られた絵をする児童たち

母校

高瀬小に絵をプレゼント

高橋宏幸氏が古里に思い寄せ

「チロヌップのきつね」など

の作者として世界的に知られる

本町老方出身の絵本作家・高橋

宏幸氏(六六歳・東京都田無市)

が、このほど母校に当たる高瀬

小学校に「ふるさと万歳」と題

した絵を寄贈しました。

昨年九月、高橋氏が高瀬小創立五周年記念式典に招かれた際、

受け、児童全員に色紙やサイン

が毎日目にできるよう、昇降口の一角に掲げ大切にしています。

高瀬小ではこの絵を子供たち

胸を張り、両手をかざして望んでいる、ライトブルーとグリーンを基調にしたもので、希望と躍動感に満ちあふれています。

臨時議会 野球場工事契約など可決

臨時議会が八月十日に開かれ、野

球場グラウンド整備・外構工事請負

契約の締結と消防費など一般会計の

補正予算案を可決しました。

野球場グラウ

ド整備工事は三千

百万三千円で日建

工業株(秋田市)、同外構整備工事は

三千九百六十五万

五千円で(株)大沼組(藏新田)と

それぞれ契約したものです。

これにより現在グラウンドと外構工事が盛んに進められています。

ますが、スタンダードの建設工事も今月中には入札が行われ、早期に着工となる見込みです。

一般会計補正予算は、全県消

防大会への出場経費、高瀬小学

校リレーの全国大会出場派遣費補助金で、現計予算に二百十一

万九千円を追加、補正後の予算総額は二十九億六千八百八十七

国立陸上競技場で走ったぞ！

全国少年少女リレー競走大会・高瀬小出場スナップ



47都道府県から約千人の選手が出場しての開会式

選手の父母らも駆け付け観覧席から力強い声援を送った



観覧席に突如、絵本作家・高橋宏幸氏(老方出身)が現われ、かわいらしい後輩を盛んに声援



秋田県からは14人の選手が出場 (高瀬小は後列)



あいにくの雨の全国大会でしたが、入場式、そして閉会式は厳粛なうえ、華麗なものでした。マーチングバンドの行進に始まった開会式のフィナーレは、一万個余りの風せんが色を揃えた立派なものでした。

予選を通過して準決勝にまで出場し、なおかつ自己ベストを出した子供たちに涙はなく、とてもさわやかな印象をもちました。

結果は、全国四十七チーム中、十位というすばらしいものでした。今後の東由利の子供たちに大きな影響を与えたと思います。

そもそもこれも、地元学区の皆さんはじめ、町民の皆さんのが暖かな励ましがあったから

町民の皆さん
ありがとうございます

高瀬小PTA会長
今野秀和さん





成人式に出席した57人の新成人

晴れて大人の仲間入りをした
若者たちを祝う成人式が、八月
十五日有鄰館で行われました。
今年成人を迎えたのは昭和四
十三年四月二日から四十四年四
月一日までに生れた七十二人で
このうち成人式には五十七人が
出席しました。

式典は午前九時に始まり、新
成人を代表して小野久一さんに
成人証書が、小野光之さんと小
松早苗さんに記念品が畠山町長
から贈られました。このあと畠
山町長が「成人式を迎える年は
社会的に大人として認められる
大事な節目の年。社会人として

の自覚を忘れず、社会で頼られる大人として生きてほしい」と祝辞を述べました。

新成人を代表しての「誓いの言葉」では畠山弘喜さんが「故郷の将来はどうあるべきか、これから高齢化社会にどう対応していくかなど、社会の命題をしていくかなど、自分で考え、自らの手で創造していく。そのためにも自らを磨き、健全な人生基盤を築いていきたい」と力強く述べ、式典が閉じられました。

このあと記念講演が行われ、株式会社講談社広報室長の鈴木富夫氏が「現代に生きる」と題

平成元年度町成人式 72人が大人の仲間入り



島川町長から成人証書を受け取る新成人代表の小野久一さん

20歳の記念に案内版設置

在町の新成人が今年の春から製作に取りかかっていた「八塩山の案内版」が完成し、成人式当日、館合バイパス・八日町交差点付近に取り付けました。

これは「二十歳の記念に」と町内に住んでいる新成人が夜間など余暇を利用して作つたもので、案内版は直径二十分の間伐材を

骨組みにした絵二点四アの、二
ヤ製。色鮮やかに描かれた美し
い絵が八塩山を案内しています
実行委員の畠山敏則さん(大琴)
は「完成した時はほんとうにう
れしかった。そして何よりも同
級生が週に一度集まり、楽しみ
ながら作ることができたことが
一番よかつた」と話しています。

成人式典終了後、案内版の取付け
作業に取りかかつた新成人たち



ん築いてほしい。若いうちには失敗はつきもの。失敗してもいくらでもやり直しがきく。失敗を恐れず、のびのびとした発想で生きていってほしい」と新成人を励ました。

引き続き行われた新成人意見発表では、小松優さん、佐藤朱美さん、小野久一さんの三人が成人を迎える心境などを発表、それぞれの意見が新成人たちから共感を呼んでいました。

記念撮影のあと新成人たちは同会場で祝杯をあげ、懐かしい顔ぶれが集う中、心ゆくまで二十歳の門出を祝い合いました。

高校三年の春、あこがれのナースキャップをいただいて「ナイチンゲール誓詞」を誓つた。それから二年間の実習で、たくさんの患者に出会い、多くのことを考えさせられたこ

私は一生忘れることができない
と思う。彼女は六十一歳で脊髄
の病気のため、下半身の感覚は
麻痺していく、手も不自由で、
なかなか思い通りに体を動かす

胱に入れっぱなしにしてある管を、薬液で毎日洗うことである。私たちにすれば簡単なことなのに、彼女には時間がかかり大仕事だった。誰かに頼むことはた

あり、意地となつて彼女を支えていたのだと思う。それが彼女の「一生懸命に生きる」ことなんだからあと教えられた気がした。

という言葉を見て、そういう考え方もあるんだと思つた。十年の経験者と一年目の私は求められるものが違うはずだから、背伸びせず、今の自

今を生きる

看護婦・佐藤朱美さん（葎沢）

新成人音見發表から

分に出来る最高の看護をして
いきたいと思う。まだ二十一
歳なのだから、失敗を恐れず、
いろいろなことに挑戦してい
こうと思う。それが私の「一
生懸命に生きる」ことの要素

「お疲れさまでした」と見送つたこともあつた。こんな学生生活を終え、今年の四月から看護婦として働き始めた。

ことができなかつた。そんな彼女の退院に向けての訓練が、私が勤め始めて間もなく始まつた。

一番苦労したのが「膀胱洗浄」だつた。これは、尿が出るのが分からぬので、出すために膀

やすいのに、彼女は自分でやるのだと頑張り続け、退院のころにはコツを覚えスムーズに出来るようになつた。今の自分で出来るこの最高まで努力するんだ、という一本の芯が心の中に

ると、少し考えれば分かることなのに、すぐ人を頼り聞いてしまい「またやってしまった」と後悔することが多い。しかし、ある雑誌で「後悔は先に立たないが、役には立つかもしれない

これからまたたくさんの患者と出会い、多くのことを教えられる看護婦として成長していきたいし、ステキな女性でありたい。

東由利歴史散歩

旧下郷地区について「下村古来物語之事」が元禄七年（一九六四年）、生駒藩家老金子宛に出したと思われる写しが残っています。



小笠原藏人奥長の
墓碑(藏立寺・東)

下村氏の館、墓碑

秀吉からの朱印状

秀吉から下村彦次郎への朱印状

それによると、下村殿の小等原藏人は古来信濃から下つて来たと申し伝えがあり、この藏人奥長という先代は、元禄七年の百二年以前にお果てになられ候とあります。藏人奥長の墓碑（本願院殿月山心光大居士、文禄癸巳五月三日、小笠原氏と刻まれてある）が、藏立寺の裏にひとつそりとあります。逆算すると百二年以前と符号します。

この下村氏の館については「内館上方より御下着の城。但し城中に諏訪八幡お建てになられ候。同坪木のい・ち・よ・う今ほど二丈廻り、この木上方よりお馬のむち指木なられ候由。屋敷數十間（軒）ござ候」とあります。

内館は諏訪神社と大いにちようの記述から、岩館であることがわかります。居館部分の内館は諏訪神社境内一帯で、東方は内

濠（そのあとが今でもある）で区画され、西方向の緩斜面には空濠の切り込みがあり、集落内に北之城の地名もあって、高台全体が戦闘員の屯^安するところであつたようです。

ところで下村氏には、天正十八年（一五九〇年）秀吉から知行安堵（その地をもらう）の朱印状が交付されており、その朱印状が秋田市の下村おせき家に保存されています。「下村百七十五石のこと。たすけしめしおわんぬ。全く領知すべく候也」と読めます。下村彦次郎は藏人奥長で、彦次郎は通称のようですが

アシヌリ・11

中学生が独居老人宅に宿泊

東由利中学校と町社会福祉協議会の共催で、この夏休み八人の中学生が町内の一人暮らしのお年寄り四人を訪問し、宿泊しました。

八月二十一日から二十二日の、まだ残暑きびしい時でしたが、中学生たちはスイカと花火を手土産に訪問、花に水をやつたり、風呂や廊下の掃除、食事の準備のお手伝いなどをしました。

学生たちはスイカと花火を手土産に訪問、花に水をやつたり、風呂や廊下の掃除、食事の準備のお手

伝いなどをしました。

またお年寄りからは、昔の生活の様子や学校時代の話を聞き、夜は一緒にふとんを並べて寝るなど、貴重な体験をしました。

ふだんはもの静かな一人暮らしのお年寄りの家も、若い「孫」たちの訪問で、明るくにぎやかな二日間となりました。

玉米小唄を会歌に本荘に「八塩会」発足

「ハ玉米よいとこ八汐の麓、一度来て見りや二度来にやならぬ」
ご存じ「玉米小唄」（小松平五郎作詞・作曲）。この唄を「会歌」に、

本荘市内に住む旧玉米地区出身者らが「八塩会」を発足させました。玉米在住時代の思い出を語り、親睦を深め合おうと中津川俊雄さん（家の下出身）らが音頭をとった



本荘市内会館での二回目の会に参加した旧玉米地区出身の皆さん



八人の中学生が四人の独居老人宅へ宿泊。身の回りのお手伝いをした

「林業のプロ」伊東さん

県林業経営コンクールの間伐部門で、伊東国男さん（蔵）が優秀賞の第一席である県知事賞を受賞しました。

同コンクールは、森林所有者の林業技術向上などを目的に県が毎年実施しているもので、今回で二十三回目。林業経営、枝打ち、間伐の三部門で実施し、

良質秋田杉の生産に大きく寄与しているものです。
伊東さんは約六㌶の山林を所持し、そのうち約七〇㌶を人工林化し、適切な間伐による良質材の生産や作業道の開設による経営の合理化を図っていることが高く評価されたものです。

伊東さんは現在町森林組合の監事を務めているほか、学校林や消防林の保育管理指導にも携わる「林業のプロ」で、町林業振興に大きく貢献しています。

県知事賞を受賞



県知事表彰状を手に伊東さん（写真・左）

小野さんが優勝

ふるさと交流将棋大会

八月十五日・商工会館・参加

十人

優勝 小野裕明さん（宿
準優勝 阿部 力さん（本荘市）
第三位 鈴木正文さん（西目町）

大イチョウに無病息災など祈願

蔵地区で第一回「日本一大いちようまつり」

県指定天然記念物「岩館のイチ

ヨウ」を見直し地域活性化につなげようと、八月十六日蔵地区コミ

ニティ協議会を中心とした実行委員会（畠山昭雄会長）が「日本一大いちようまつり」を開催しました。

午前十時、中世の由利十二頭の

一人、下村氏の岩館入部を再現する騎馬武者の一行が横渡を出発し、地区住民ら大勢が待ち受けの大イチョウに到着。神主の祝詞奉上の上で、参加者全員が無病息災や五穀豊じょうを祈願しました。

また、カセットテープからは大イチョウのプロフィールが流れ、参加者はテープを聞きながら多くの伝説を残す大イチョウを改めて見直していました。

下村氏の入部を再現する武者の一行が横渡から岩館まで一巡



大イチョウの樹陰で無病息災、五穀豊じょうなどを祈願



まつりを演出。永慶保育園前の特設会場では、大潟八郎ショー、陣屋ほら貝吹き大会、自慢の隠し芸を披露する「何でも大会」のほか、盆踊り大会が夜まで続くなど、地区住民らはふるさとの夏まつりを心ゆくまで楽しんでいました。

畠山会長は、「地域の皆さんの協力で盛大に行うことができた。今後も地域の一大イベントとして定着させていきたい」と話していました。

ひがしゆり・13

横山美和子さん (20歳)
智者鶴・小松医院(老方)勤務



職場（小松医院）を選んだ理由
「学校がそういう関係で、たまたま募集していたので」

「『そして死刑は執行された』と
いう本。マンガも良く読みます」
印象に残っている場所
「修学旅行の時行つた小豆島。何

もない場所だつたけど、なぜか
学生時代について
「たまに学校に行つたりするけれど、その度懐かしい感じがします。これは卒業して、改めて分かつた事だけど」

今やりたい事
「旅行です」

理想のタイプ
「館ひろしのような感じ」

自分について
「友達に会つたりすると、自分は昔から少しも変わらないでいるなと思うことがある」

友達について
「自分は結構良い友達に恵まれて
いると思います。不満もないし」

将来のこと
「あまり考えていない。むしろ今
現在のことの方が気になるので」

さわやかなさん

わが家の
アイドル

館合新田・佐野
新ちゃん(3歳)
瞳ちゃん(2歳)

貞雄さんと、どう子さん次男、長女
「新は今年から保育園に行くようになつたせいか人の言うことをよく聞くようになりました。瞳は女の子のくせに一番のきかんぼうで、手が放せません」と、どう子さん



東由利の文芸

ゆりかご句会（八月句会から）

◆晩酌は嫁が作りし茗荷焼き
佐藤正義（湯出野）

◆幼な日に 笠舟流して泳ぎけり
遠藤トミ子（小倉）

◆祖母の忌や好みし茗荷を串焼
きに 小笠原亮子（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆人知れず咲いて実を解くみよが
小笠原トミ（藏新田）

◆前掛けに土をこぼして茗荷の子
小松メサ（下小路）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要（沼）

◆瞳だけ輝く夕餉泳ぎの子
阿部澄子（藏）

◆白き歯の笑みをこぼして泳ぎの
子 高橋ヒデコ（横渡）

◆朝礼にことごと注意の水泳
小松慶治郎（高戸屋）

◆残照の泳ぎ戻りに町は混み
阿部義直（沼）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆手拭に茗荷を包む山畠
小笠原トミ（藏新田）

◆泳ぎの子水かけあいて興じけり
小笠原トミ（藏新田）

◆朝露に濡れて取り来る茗荷の子
の子 小野貞子（藏新田）

◆茗荷汁食うも食わすも物忘れ
鈴木要



子からホンネ本音親から



館合新田・長谷山京子さん

私の家は八人家族です。ひいおじいさん、ひいおばあさん、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、おじさん、それに私は。家では、牛、犬、金魚ハムスターをかつてあります。ハムスターのせわは私がやっています。

赤ちゃんが七ひきもいるので、とてもぎやかです。えさをやると、手でもつてたべます。とてもかわいいです。私は、これから、勉強で国語と算数をもつともつとがんばろうと思います。



みんなの健康 ヘルシーロード

薬効が大の緑茶

ヘルシー時代に見直したい

日本の緑茶は、摘んですぐ熱処理をして酸化を止めた無発酵のものです。お茶は中国から日本に伝えられたもので、その薬効は古書にも多く語られています。

お茶は二日酔いや、眠気覚ましに良く効くといわれますが、それは、カフェイン、ビタミンC、無機質、タンニン、アミノ酸のほか八種類の成分によるものです。

主な成分の効果をあげると、コ

ーヒー、紅茶にも含まれているカフェインは、眠気を覚まし、精神活動を高め、疲労回復、心臓機能促進、利尿作用があります。ビタミンCは、疲労回復、そしてまた高血圧にも効果的です。無機質は、物質代謝、タンニンは胃腸の粘膜を保護してその働きを促し、消化を助けます。



私の出番



畠村
小松優さん(21歳)

隨想スノット

「秋田に帰ろう」と思い始めたことは、就職してから二年目の冬のことでした。東由利は自分にとって最高の所なんだと言い聞かせ、この春戻ってきました。

一生暮らすとなると何かが足りない町のような気もしますが、最近、私たちが何かをやればこの町をもつともつとよくしていけるのではと考えるようになりました。

今こそたとえ小さなことでも、町のため、自分のために何かをやろうと考え始めています。

私の故郷・東由利

八月十五日の「ふるさと交流」に娘と息子を伴つての初参加。町当局の二十名程度の参加予想を遙かに超え、なんと大型バスでも足りず小型マイクロバスでも動員の大盛況。いずれも自分の飛び立った心のよりどころの「ふるさと」を子や孫に見せたい、あるいは変わりゆく「ふるさと」に昔を重ね映したいと参加した面々がほとんどだつたのではないでしょうか。

八月十五日の「ふるさと交流」に娘と息子を伴つての初参加。町当局の二十名程度の参加予想を遙かに超え、なんと大型バスでも足りず小型マイクロバスでも動員の大盛況。いずれも自分の飛び立った心のよりどころの「ふるさと」を子や孫に見せたい、あるいは変わりゆく「ふるさと」に昔を重ね映したいと参加した面々がほとんどだつたのではないでしょうか。

八月十五日の「ふるさと交流」に娘と息子を伴つての初参加。町当局の二十名程度の参加予想を遙かに超え、なんと大型バスでも足りず小型マイクロバスでも動員の大盛況。いずれも自分の飛び立った心のよりどころの「ふるさと」を子や孫に見せたい、あるいは変わりゆく「ふるさと」に昔を重ね映したいと参加した面々がほとんどだつたのではないでしょうか。



「ふるさとを想う」^⑯

千葉県印旛郡白井町掘込一三五〇六

遠藤忠男さん(蔵新田出身・51歳)

できる皆さん。絵付けを指導して下さった伊東實先生の年きの入ったやさしい教え方、郷土の味を満喫させていただいた賄いの皆さん、熱唱の民謡同好会の皆さん。

町長さんの「二世、三世、四世のふるさとですヨ」に集約される

ように、ともすれば「金」がすべて優先し、他人を思いやる「心」が失せていく傾向を悲しみ嘆いていた者にとつて、わが故郷には思いやりの心が充分に残っていること、ここに生れたことを、娘と息子の前に誇りに思え、自分の日ごろの言動の裏付けが出来た有意義な一日でした。

本当にありがとうございました。

現在は、お茶を飲む人が年々少なくなっているそうです。特に若年層では、コーヒーに人気があるようですが、たまには、薬効が大の緑茶を一家団らんで一杯飲むのも、いいのではありませんか?。

(保健婦・高橋鈴子)

町民カレンダー

- 人口（）は前月比
- 男 2,899人（△6）
- 女 3,028人（△3）
- 計 5,927人（△9）
- 世帯数 1,437戸（—）
- 出生 2人（37）・死亡 4人（38）
- （—）は1月からの累計

- 3・下郷分校学校祭（9時30分）
- 6・乳児健診（有鄰館・13時）
- 7・胃検診（役場・5時30分）
- 7・心配ごと相談（朋楽荘・13時）
- 8・胃検診（大蔵館・5時30分）
- 11・議会定例会（役場・9時）
- 13・第2回健康推進大会並びに町

- 転入 3人（55）・転出 10人（107）
- 結婚 2組（12）・離婚 0組（6）
- 火災 1件（4）・救急車出動 9件（52）
- 交通事故 0件（4）・死者 0人（0）・傷者 0人（7）・酒酔い運転 1人（1）・酒気帯び 3人（10）

町民謡同好会（遠藤真吉会長）では、日ごろの練習の成果を町民に披露しようと、九月十六日（土）午後六時から八時三十分まで、健康増進センターで「発表会」を開くことにしています。

民謡の好きな方はぜひお出掛けのうえ、出演者にご声援ください。入場は無料です。

町民の舌を町政に！
町長の面会日 今月は20日

第1回住民大学開催

愛育班設立15周年記念大会
(健康増進センター・13時)

日 時 9月8日(金)10時30分～15時
場 所 有鄰館
内 容 フォーラム、基調講和、
全体会議

参加費 5百円(昼食代)

郷土の野草

文・写真 小松忠正



8月★町のミニ統計

(7/1～7/31)

利尿（腎臓炎、膀胱炎）などには桃炎に日干ししたもの3～5グラムを2合の水で煎じてうがいします。利尿（腎臓炎、膀胱炎）などには桃炎に日干ししたもの3～5グラムを2合の水で煎じてうがいします。

人もいます。薬草で、口内炎、扁桃炎に日干ししたもの3～5グラムを2合の水で煎じて服用します。

一日10グラムを煎じて服用します。

ウツボグサ

(シソ科)

日本全国の比較的陽のある路傍などに多く見られる多年草で、

葉は対生し、茎は方形で15～30センチになり毛があります。初夏、紫色の美しい唇形花を穗状につけます

が、夏に急に枯れたように褐色になります。「夏枯草」ともいわれ、

ここではヘビノマクラなどという名前もあります。薬草で、口内炎、扁桃炎に日干ししたもの3～5グラムを2合の水で煎じてうがいします。

利尿（腎臓炎、膀胱炎）などには桃炎に日干ししたもの3～5グラムを2合の水で煎じてうがいします。

人もいます。薬草で、口内炎、扁桃炎に日干ししたもの3～5グラムを2合の水で煎じて服用します。

町社会福祉協議会にご芳志として高橋源一さん（下通）から金一封が届きました。

ありがとうございます

善意

町社会福祉協議会にご芳志として高橋源一さん（下通）から金一封が届きました。

●お誕生おめでとう
(7/21～8/20届出・敬称略)

13 嶽石なつき（伊久雄・長女）山崎温子（八郎・長女）五海保

17 浅田麻理奈（イツ・照信浩子・長女）大琴

8/7 畠山梓（敏博伸子・長女）袖山早希（豊隆玲子・三女）下小路

8/7 佐々木崇乃（安彦信子・長女）大琴

8/7 畑山早希（豊隆玲子・三女）下小路

8/7 小野祐喜（智佐子・義父）宿俊弘（泰子・長男）宿

8/15 小野長悦（智佐子・義父）宿

8/12 畠山キワ（新一・母）岩館

7/27 小松長四郎（イエ・夫）上通

7/25 菊地光三郎（ミエ・夫）新沢

編集室から



▼「敬老特集」で老年

人口を調査し、本町の老人人口比率（一八・四%）の高さを改めて痛感した。しかし

この数値は若年人口が少ないために出た数値ともいえ、最近の出生の状況からみて人口の高齢化よりむしろ出生数の少なさを問題にしなければならない

出生者は六十九人、六十三年は六十二人、そして今年は七月末現在三十七人。いずれこのことを取り上げてみたいと思う。▼猛暑が続いた今年の夏が終った。雨が少なく干ばつによる被害が心配されたが、どうにか持ちこたえ稻

は順調に成育中。このままでいくと今年は豊作が期待できそう。▼工藤定蔵

さん（愛知県豊岡町）小松俊太郎さん（静岡県藤枝市）からそれぞれ一万円が届きました。ありがとうございました。

会員募集！

「夢セミナー89」

戸籍だより

(7/21～8/20届出・敬称略)

「夢セミナー89」は、町発展のために、身近な問題やアイデアを出し合う集りです。

会員は概ね二十歳から四十歳の若い町民で、月に一度定期会を開くほか、視察研修なども行っています。

現在会員を募集中です。ぜひ入会し、町づくりにアイデアを出し合いませんか？

お問い合わせは役場企画財政課 69-2110・内線38まで